

90th ANNIV. 1932-2022

創業90周年を迎えて



弊社の「あるべき姿」を目指し、
実現するためにはどうすればいいか。
5年先も成長し続けるために、
終わらない探求を続けて参ります。

弊社は無事、創業90周年を迎えることができました。これもひとえに
お取引先、協力会社、仕入れ先皆様方のよきご理解とご支援、ご協力を
いただいたからこそと厚く御礼申し上げます。

初代社長 吉川国太郎がセルロイド加工業を1932年に創業して以来、
工場火災、第二次世界大戦、第一次オイルショックなど、度重なる苦難を
乗り越え、今日まで着実にモノづくりを続けることができました。

近年では、2019年より世界規模で流行した感染症対策により、営業
自粛や展示会中止が余儀なくされ、ロックダウンによる海外物流の難化
や売上の急降下などが起こりました。2022年の昨今では、ロシアによる
ウクライナ侵攻などが発生し、急激な円安、材料高に見舞われておりま
す。これらの前例のない事態の中で経営を続けられたのは従業員の皆様
による、懸命な対応と対策によるものが大きかったと考えます。

兼ねてより進めている中長期計画で、今期が5年目を迎えます。まだま
だ問題を抱えながらも、いくつかが実現に向かい始めております。第四
工場の建設が90周年の締めに関与することができました。この工場建
設では、弊社が経営の第三の柱を目指す、環境対応に向けた新規材料
開発事業の推進での大きな役割を持っています。

世界では2030年までの温室効果ガス削減目標が掲げられておりま
すが、この大きな目標の上流に100周年を迎えた弊社の存在を確立さ
せることを目指しております。

実現には、皆様方のご協力が必要となります。今後とも、生活者に選ば
れ、愛される商品づくりに邁進する所存であります。皆様方には変わらず
のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 吉川工業所
代表取締役社長 吉川 利幸

Toshiyuki Yoshikawa

創業90周年を迎え 積み重ねてきた「想い」を胸に 世界で存在感を示す グローバルなブランドを目指す。

奈良県の本社地に創業し、今に至るまで多くの先人達がこの地で
事業に向き合い、多くのお取引先、協力会社、仕入れ先皆様方に支え
られ創業90周年を迎えます。

従業員一人一人が社是・理念・行動指針を通して先人達の想いを学
び、実践してきた結果であり、他にはない独自の文化が形成されてい
るのだと感じます。それはどんな時でも前に進み出す前進力です。社会の
流れは急激で常に対応を余儀なくされますが、新しい時代と社会の要
請に向き合い、前向きに取り組める文化が私たちには根付いていること
が何よりも大きい財産ではないでしょうか。

100周年を視野に入れ、自社の存在意義を考えます。プラスチックは使
い捨ての素材として大量に消費され廃棄されてきました。また不適切な
廃棄をすることで環境に負荷をかけてしまうこともあります。私たちはそ
のような社会を変えたい。限りある資源を循環させ、生活用品業界で
培ったデザインや技術で世界中の人々の暮らしを快適さと感動で満たし
続けることが私たちの存在意義だと考えます。私たち一人一人が取り組
み、前進することでより明るい未来がひらけていくのだと信じています。

変化の激しい社会にあって、世界を持続的発展へと導くことが使命で
あると考え、そのための人材育成と製品開発に取り組んでまいります。関
係各位の皆様におかれましては、引き続きのご理解とご支援を心よりお
願い申し上げます。

ライクイト株式会社
代表取締役社長 吉川 和希

Kazuki Yoshikawa



どうすれば、 プラスチック製品が生活のいろいろなシーンで キラキラと光った存在になるのだろうか。 生活に不可欠なアイテムとして末永く愛されるものになるだろうか。

試行錯誤を繰り返しおよそ36年前、脇役にすぎなかったカゴを生活の表舞台に
登場できる器量を備えたインテリアバスケットを開発しました。

その誕生を見たことから、弊社の商品開発にける思いは大きく膨らんでいったのです。

現在では、次の世代を迎え入れ、プラスチックの新たな可能性を探求する日々は続く。

これからもプラスチックの資源循環を推進し、美しい収納と快適な暮らしをご提供することに努力して参ります。